

一般

平成23年度 事務事業評価表(平成22年度分に係る報告)

評価対象事務事業名		沢田浄水場等運転・管理業務事業			事業コード	1261
担当課等	所属名	上下水道局 沢田浄水場		担当係名		
	課長名	上下水道局 浄水課長	担当者名	上下水道局 沢田浄水場 菊池 宏	電話番号	6902

1. 事務事業の基本情報

総合計画体系	施策の柱	快適な都市機能	コード 7	施策	いつでも信頼される上水道事業の推進	コード 5
	基本事業	安定給水の確保	コード 1	関連予算 費目名	水道事業会計 1款01項10目 修繕費(019-10) 水道事業会計 1款01項10目 動力費(020-10) 水道事業会計 1款01項10目 薬品費(022-10)	
	特記事項					
事業期間	<input type="radio"/> 単年度 <input checked="" type="radio"/> 単年度繰返 <input type="radio"/> 期間限定複数年度			⇒ (開始年度 昭和50年度～)		
事務事業の概要	築川から取水した原水を人の飲用に適するように、常に施設の点検整備を行い浄水・減菌処理し、給水区域内の需要に対応した水量を供給するもの。					
根拠法令等	水道法					
この事務事業を開始したきっかけ(いつ頃どんな経緯で開始されたのか)						
市政の発展に伴い水需要が拡大する見通しにより、第6次拡張事業として昭和50年に完成、給水を開始した。						
この事務事業に対して関係者(市民、議会、事業対象者、利害関係等)からどのような意見・要望が寄せられているか						
市議会及び盛岡市水道経営審議会において、安全でおいしい水の安定に努めるようにとの意見がある。						
事務事業を取り巻く状況(対象者や根拠法令)はどう変化したか。今後の見通しはどうか						
使用者の節水意識の高まりと大口需要者の自家水(地下水)への転換及び人口の減少等により、給水量が減少している。また、水道水の安全性・安心性に対する意識は一層の高まりを見せており、「安全で安定的な水道水の供給」、「災害に強く、安心して使える水道」といった水道事業者への要求は今後も増大することが予想される。						

2. 事務事業の実施状況(Do)

①対象 (誰を、何を対象としているのか)	○浄水処理施設等。○原水。	⇒	②対象指標 (対象の大きさを示す指標)	A. 施設数	単位	箇所
				B. 原水の取水量	単位	m3
				C.	単位	
③手段 (事務事業の内容、やり方、手順)	22年度実績(22年度に行った主な活動) ・施設の異常発生時、被災時の緊急出 動復旧作業。 ・原水の浄水処理作業。 ・浄水処理過程に発生する汚泥の、適切な排水処理作業。 23年度計画(23年度に計画している主な活動) ・施設の異常発生時、被災時の緊急出 動復旧作業。 ・原水の浄水処理作業。 ・浄水処理過程に発生する汚泥の、適切な排水処理作業。	⇒	④活動指標 (事務事業の活動量を示す指標)	A. 施設異常、災害時等の職員の緊急出動回数	単位	回
				B. 浄水量(ろ過水量)	単位	m3
				C. 汚泥処理量	単位	m3
⑤意図 (この事業により対象をどのように変えるのか)	・浄水処理施設等は、24時間常に正常な運転可能な状態にする。 ・原水を水道法の水質基準等に適合した水道水として配水するとともに、一方で発生した汚泥は、環境に影響を与えないように処分する。	⇒	⑥成果指標 (意図の達成度を示す指標)	A. 施設の正常稼動(減断水無し)率 = (1 - 減断水日数 / 年度の日数) × 100 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	%
				B. 配水量 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	m3
				C. 汚泥処理率 = 汚泥処理量 / 原水の処理量 × 100 【指標の性格: ○ 上げる ○ 下げる ● 維持する】	単位	%
⑦結果 (上位基本事業の意図: 上位の基本事業にどのように貢献するか)	安全でおいしい水が安定供給される	⇒	⑧上位成果指標 (上位基本事業の成果指標)	有効率(単位:%) 耐震化率(単位:%) 残留塩素(単位:mg/l)		

2. 事務事業の実施状況(続き)

⑨事務事業の各種指標の実績及び目標値

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	目標年度 目標値
対象 指標A	施設数	箇所	16	16	16	16	16	16	26年度 16
対象 指標B	原水の取水量	m3	9,344,412	9,398,683	11,826,000	9,450,553	11,826,000	11,826,000	26年度 11,826,000
対象 指標C									年度
活動 指標A	施設異常、災害時等の職員の緊急出動回数	回	5	5	10	7	10	10	26年度 10
活動 指標B	浄水量(ろ過水量)	m3	9,109,938	9,132,772	11,707,740	9,134,256	11,707,740	11,707,740	26年度 11,707,740
活動 指標C	汚泥処理量	m3	4,114	4,363	4,000	4,185	4,000	4,000	26年度 4,000
成果 指標A	施設の正常稼動(減断水無し)率=(1-減断水日数/年度の日数)×100	%	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	100.00	26年度 100.00
成果 指標B	配水量	m3	8,402,892	8,476,738	11,096,000	8,429,390	11,096,000	11,096,000	26年度 11,096,000
成果 指標C	汚泥処理率=汚泥処理量/原水の処理量)×100	%	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	0.04	26年度 0.04

⑩事務事業に係る事業費

区分	指標名	単位	20 年度実績	21 年度実績	22 年度計画	22 年度実績	23 年度計画	24 年度計画	*****
事業費	A	千円	68,479	87,994	91,473	88,097	90,349	90,349	*****
財源 内訳	④国	千円							*****
	⑤県	千円							*****
	⑥地方債	千円							*****
	⑦一般財源	千円	0	0	0	0	0	0	*****
	⑧その他	千円	68,479	87,994	91,473	88,097	90,349	90,349	*****
	合計(④~⑧)(=A)	千円	68,479	87,994	91,473	88,097	90,349	90,349	*****
	延べ業務時間数	時間	15,728	13,762	11,796	13,762	11,796	11,796	*****
	職員人件費(B)(臨時職員賃金は、事務費に含む)	千円	62,912	55,048	47,184	55,048	47,184	47,184	*****
	トータルコスト(A)+(B)	千円	131,391	143,042	138,657	143,145	137,533	137,533	*****

3. 事務事業の評価(See)

必要性評価	① 施策体系との整合性 この事務事業の意図は、結果(政策体系)に結びついていますか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 結びついている	理由：施設を24時間常に正常に運転するということは、水道水をいつでも必要なときに必要な量を使用してもらえることにつながる。また、水道法の水質基準に適合した水道水とすることには、安全でおいしい水を信頼して使用してもらえることにつながり、発生する汚泥を水環境に影響を与えないように処理し再利用することは、安定給水に結びつく。
	② 公共関与の妥当性 市がやるべき事業ですか？ 税金を使って達成する目的ですか？	<input type="radio"/> 見直す余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 妥当である	「妥当」とする理由： <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由：盛岡市の水道は、普及率 99%を超え市民の健康な毎日の生活に欠かすことのできない必要なものになっている。また、この事業は水道法に基づき、安全かつ豊富低廉な水の供給を図ることにより、公衆衛生の向上と生活環境の改善に寄与することを目的としていることから、市が行う事業である。
	③ 対象の妥当性 対象の設定は現状のままでいいですか？ 広げられませんか？ また絞らなくてよいですか？	<input type="radio"/> 拡大または絞る余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由： <input type="radio"/> 法定事務である <input type="radio"/> 内部管理事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由：浄水処理施設は、給水区域内に水道水を安定して供給すべく条件に適した位置に設置されており、また、原水は水道事業認可及び水利権の許可に基づいていることから、現状では見直す余地はない。
	④ 意図の妥当性 意図(何を狙っているのか)を絞ったり拡大したりして、成果向上できませんか？	<input type="radio"/> 拡大または絞ることができる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 現状で妥当である	「妥当」とする理由： <input type="radio"/> 法定事務である <input checked="" type="radio"/> その他 理由：原水を水道法に適した浄水(安全でおいしい水)として水道使用者に供給しているが、水質基準が改定された場合は、これを浄水場の運転・管理に対応させて、常に適切な運転を行っている。
有効性評価	⑤ 成果の向上余地 成果がもっと向上する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 向上余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 向上余地がない	その内容：日頃より浄水場職員の技術力を高めることは、浄水場の安定した運転・管理の向上につながる。
	⑥ 廃止・休止の影響 事業を廃止・休止した場合、施策の成果に及ぼす影響はありますか？	<input type="radio"/> 影響がない ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 影響がある	その内容：浄水場は、ライフラインである水道水の製造工場であり、この事業を廃止・休止することはできない。
	⑦ 類似事務事業との関係 類似の事務事業(国、県、市の内部、民間)はありますか？	<input type="radio"/> 類似事業がある <input checked="" type="radio"/> 類似事業がない	事業名： ※類似事業がある場合、その事務事業と統廃合又は連携を図ることにより成果向上はできませんか？ 統廃合・連携検討 <input type="radio"/> できる ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> できない 理由：
効率性評価	⑧ 事業費の削減余地 成果を下げずに事業費を削減できる余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容：配水量は、季節により増減しているが、配水量を的確に予測し、かつ、配水池の容量を有効利用することにより、薬品使用量及び電力消費の節減を図れる。
	⑨ 人件費の削減余地 成果を下げずに人件費(延べ業務時間数)を削減する余地はありますか？	<input checked="" type="radio"/> 削減余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input type="radio"/> 削減できない	その内容：効率的な機器の更新及び点検整備を行う。また、委託者の故障対応能力の向上により施設の故障等による職員の時間外出勤を減らし、人件費の削減を図れる。
公平性評価	⑩ 受益機会の適正化余地 受益機会の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由：水道事業は、水道利用者による受益者負担が原則であり、いつでも安心でおいしい水を公平に供給し、その費用は条例により水道料金として定められていることから公平・公正である。
	⑪ 費用負担の適正化余地 受益者の費用負担の適正化余地はありますか？	<input type="radio"/> 適正化余地がある ⇒ 4. 事務事業の改革案へ <input checked="" type="radio"/> 公平・公正である <input type="radio"/> 特定の受益者はいない	理由：水道事業は、水道利用者による受益者負担が原則であり、いつでも安心でおいしい水を公平に供給し、そ

の費用は条例により水道料金として定められていることから公平・公正である。

4. 事務事業の改革案(Plan)

改革/改善方向	<p>①改善の方向性(この事務事業をどう変えていくか、廃止や拡充、事業方式改善など) ※複数ある場合は、代替案その1, 代替案その2とすること</p> <ul style="list-style-type: none"> ・職員の高齢化が進んでおり、後継者への技術の継承を進めていく。 ・施設の安定した運転を確保するため、計画的な機器等の更新を行う。 ・運転管理業務委託の受託者の技術力、履行状況の検証を行う。 <p>②改革、改善を実現していく際に想定される問題点は何ですか？ それをどう克服していきますか？ (関連部門や全庁的な調整の必要性、トップへの要望も含む)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化に伴い、今後施設整備費の増加が見込まれることから、効率的な施設整備を進める。
---------	------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

5. 課長意見

一次評価	<p>(1)一次評価者としての評価結果</p> <table border="0"> <tr> <td>① 必要性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>② 有効性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>③ 効率性</td> <td>○ 妥当</td> <td>● 見直し余地あり</td> </tr> <tr> <td>④ 公平性</td> <td>● 妥当</td> <td>○ 見直し余地あり</td> </tr> </table>	① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり	② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり	③ 効率性	○ 妥当	● 見直し余地あり	④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり	<p>(2)全体総括(振り返り, 反省点)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・水道技師系職員から一般技師系職員への水道技術の継承及び異動職員の早期技術習得、技術力向上を図ることを目的に運転管理マニュアルを作成しており、これを有効的活用し業務を推進している。
① 必要性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
② 有効性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
③ 効率性	○ 妥当	● 見直し余地あり												
④ 公平性	● 妥当	○ 見直し余地あり												
今後の方向性と改革改善案	<p>(3)今後の事務の方向性(改革改善案)</p> <table border="0"> <tr> <td><input type="checkbox"/> 終了</td> <td><input checked="" type="checkbox"/> 継続</td> <td rowspan="2"> <input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携 </td> </tr> <tr> <td><input type="checkbox"/> 廃止</td> <td><input type="checkbox"/> 休止</td> </tr> </table>		<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携	<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止							
<input type="checkbox"/> 終了	<input checked="" type="checkbox"/> 継続	<input type="checkbox"/> 現状維持(従来通りで特に改革改善をしない) <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 事業統廃合・連携												
<input type="checkbox"/> 廃止	<input type="checkbox"/> 休止													
														
<p>方向付けの理由と改革改善の内容</p> <p>受託者の技術力、履行状況の検証を行うとともに、運転管理マニュアルの精度向上を図っていかなければならない。</p>														